

## 第2回 神戸の都心の「未来の姿」検討委員会 議事要旨

項目	内容
開催日時	平成26年7月7日(月) 午前10時～午後12時
開催場所	神戸市役所1号館14階 大会議室
出席者	30名(委員27名、オブザーバー3名)
議事の目的	神戸について誇りに思っていることや今後伸ばしていきたい神戸のアピールポイント等、これからの神戸を考える上で最も大切にすべき「神戸らしさ、神戸の強み」について自由に意見を交換する。
議事の内容	<p><b>■主な意見交換の内容</b></p> <p><b>①神戸らしさ、神戸の強み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的で個性的なエリアやスポットが点在しており、コンパクトにまとまっている。</li> <li>・海と山等、自然が街のすぐ近くに存在する。</li> <li>・神戸は日本一の夜間景観都市というイメージがある。</li> <li>・神戸に来るとほっとする。</li> <li>・外国人から見た場合、日本(神戸)は安全という印象がある。</li> <li>・歩いて楽しい都心が神戸の強みだと考える。表通りも裏通りも楽しい。</li> <li>・自然環境・歴史・医療産業など、他都市が真似できない要素を有する。</li> <li>・スイーツやパンなどの神戸のブランドには歴史に裏付けされた背景がある。</li> </ul> <p><b>②都心部における現状の課題等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸の都心には個性豊かな地区が点在しており、これらをいかにネットワークとして繋ぎ、面としての魅力を発揮させるかが重要。特に歩行者空間の整備が重要である。</li> <li>・回遊性を高めて、長く滞在して頂くかという視点で考えた場合、今の神戸には長く滞在するための工夫が必要で、外国人、お年寄、旅行者への配慮として、案内サインや段差解消などのユニバーサルデザインが必要。</li> <li>・現在の三宮駅近くのインフォメーションセンターは分かりにくい。</li> <li>・中心となる三宮に降り立っても、神戸の玄関口としてのイメージが伝わってこない。</li> <li>・来街者に対する視点だけでなく、居住者に対する視点の両方をもつべき。</li> <li>・メンテナンスを確実にし、住民が自慢できる綺麗なまちにする。それが街並みの魅力向上に繋がる。</li> <li>・歴史を上手く活かしながら、新しいものに取り組んでいく必要がある。</li> <li>・三宮駅周辺のバス停を含め、案内標識が分かりづらいため、ユニバーサルデザインの面も含めて考えてほしい。</li> <li>・三宮のスカイライン(建物の高さ)が揃っていない。山や海が見える様なデザインに統一するような規制を行ってはどうか。</li> </ul>

項目	内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者を増加させるために、関空と神戸空港を海底トンネルで繋げないだろうか。</li> <li>・各国の言語別に観光案内パンフレットを作成した方がよい。</li> <li>・デパート以外でも外国人に対する免税措置ができればよい。</li> <li>・トランジットモールや LRT・BRT 等についても検討を進める場合は、国の予算も有効に活用頂きたい。</li> <li>・外国人が知っている日本の都市は東京・京都くらいで、神戸の対外的な目玉があると良い。</li> <li>・優秀な研究者に神戸に住んでもらえるように、医療と教育の充実が必要である。</li> <li>・家電量販店で買い物してもらいたいのも良いが、文化や歴史にも触れてもらいたい。</li> <li>・情報通信分野の発達と交通インフラ整備を組み合わせ、ストレスなく移動・滞在できれば良いと考える。</li> <li>・遠景夜景（山からみた全景）と近景夜景（海からみた局所）の整備が有効ではないか。</li> <li>・古いものをどのように直して、魅力的にするか。写真に撮りたくなる街を作っていきたい。</li> <li>・観光も重要だが、人口流出を防ぐことが重要である。</li> <li>・交通結節点である三宮駅周辺には、商業施設だけでなく、公共性の高い施設を集めるべきではないか。</li> <li>・ハード整備においては投資額や費用対効果も含めて考える必要がある。</li> <li>・イベントや箱モノ誘致だけでなく、挨拶の元気さや観光客への声掛け等、教育が重要で、民度を高めることが重要である。</li> <li>・三宮周辺を神戸の代表地区として考え、神戸全体の取り組みの中のモデルケースとすべき。</li> <li>・LRT を導入して、駅間を繋ぐことが出来れば良い。</li> <li>・バス乗り場の集約やイベント時における観光バスの駐車場の設置など総合的な観点で利便性の高いバスターミナルを整備してはどうか。</li> <li>・歩行環境については、まだまだ改善すべき点がある。</li> <li>・都心再生においては、メリケンパークや新港突堤といったウォーターフロントの活用が重要。</li> <li>・三宮だけでなく、元町や新神戸、ハーバーランド等、都心全体のバランスを考えるべき。</li> <li>・商業者の都心居住により、人口減少の歯止めや営業時間の延長が考えられる。</li> <li>・神戸のよいところは、点では思いつくが、面としてはなかなかイメージがしづらい。</li> <li>・来街者だけでなく、住んでいる人も一緒に楽しめる街とするのが良い。</li> <li>・働く場を作る必要がある。</li> <li>・現在の神戸は都心でも夜が早く、20時21時には人が少なくなっている。滞在時間を伸ばすために、夜も楽しめる仕掛けが必要である。</li> </ul>

項目	内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・是非もっと若い人間を巻き込んでほしい。</li> <li>・新名神ができれば、南北の高速道路軸を活かした観光誘致も可能になるのではないか。住みやすさの観点も重要。</li> <li>・どんな施策でも、維持管理を含めた継続性の視点をもっておくべき。</li> <li>・三宮駅周辺のバス乗り場が集約できればと思うが、ターミナルを作ると出入りに時間を要するデメリットもある。</li> <li>・回遊性向上においては、途中で休憩できるスペースも必要と考えている。</li> <li>・三宮は交通の結節点であるが、その機能を十分に担えていない。鉄道各社のサイン・バリアフリー化も含めて、広げていければ良い。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以 上</p>